

“残業代ゼロ”というレッテル貼り

9月の中旬に、臨時国会が始まる。この国会で最大の課題の一つが、以前から議論されてきた「労働基準法」の改正だ。働き方改革が注目を集めるなか、その象徴としての「ホワイトカラー・エグゼンプション」を盛り込んだ改正である。これまで労働の成果は、もっぱら労働時間で計られ、それに基づいて賃金が支払われた。これに対し、一部の仕事については「時間」ではなく「成果」に対し報酬を支払おうというものだ。しかしこれに対しては、依然として「残業代ゼロ」法案というレッテルがつきまとっている。

私は大学の教授だが、もし深夜まで研究論文を書いても残業代が貰える訳ではない。タレントが番組収録で深夜まで働いたとしても、残業代は貰えない。同様にホワイトカラーについても、企画や調査等の仕事では、働く時間が重要なのではなく、いかにいい内容の仕事をするかが重要な筈だ。したがってこうした職種の、かつ一定以上の所得があるようなホワイトカラーについては、労働時間ではなく成果に基づいて報酬を支払うべきだという当たり前のことが、なかなか理解されないのである。

反対論の典型が、残業代を払わないのは労働者の利益を損ねるといふものだろう。しかし前述のような職種には、そもそも残業という概念がないのだ。一部のメディアが頻繁に使う「残業代ゼロ」法案という表現は、いかにも悪意に満ちたレッテル貼りだ。また新聞記者等の場合、すでに裁量労働制という仕組みが採用されているため、ホワイトカラー・エグゼンプションは必要ない、という言い方も聞かれる。この裁量労働制というのは、あらかじめ定額の残業代を受け取り、個別に請求しないという仕組みだ。深夜まで取材や調査をしている新聞社やテレビ局の記者やディレクターが、今回の法改正に必ずしも積極的ではない一つの理由は、現状であまり困っていないと感じているからだろう。しかしこの仕組みは、厳密に言えば法律違反である。あくまで時間で労働を評価することを前提に、便宜的にみなしの残業代を払っているわけで、よく働く人とそうでない人との間では決定的に不公平な差が出る。

ホワイトカラー・エグゼンプションに関しては、「過労死」法案というレッテルを貼るメディアもある。今回の労働基準法改正の直接的なきっかけは、過労死等を引き起こす長時間労働をいかに是正するか、という点にあった。このため、時間で評価される従来型の労働に関しては、残業時間の上限を厳しく設けることが重要な内容になっている。この点で、時間ではなく成果で評価される場合、結果的に長時間労働を強いられるのではないか、というのがそのロジックのようだ。

そもそも、雇う側の経営者に比べ、雇われる側の労働者は立場が弱い。だから労働者を保護するという思想そのものは間違っていない。しかし、今回の法律のもう一つのポイントは、休暇を義務づけている点にある。つまり、時間で評価される人に関しては労働時間の上限を決めて保護する。一方、時間ではなく成果で評価される人のために、休暇の下限(最低限必要な休暇)を定めることによって保護する、という思想だ。その意味では、なかなかよく設計された一面を持っている。そうした上限や下限が今の案で十分かどうか、については疑問がある。また、ホワイトカラー・エグゼンプションの対象者が、所得等の面で余りに厳しく(年収1075万円以上に)限定されている、といった問題もある。こうした点については、さらに踏み込んだ政策論議が必要だ。たゞいづれにしても、これを「残業代ゼロ」法案や「過労死」法案と呼ぶような思考停止の議論は、いくらなんでも卒業しなければならない。

一般労働者の観点からすると、残業が少なくなるのはよいことだ。しかし、そもそも給与とは企業の収益に対する労働の貢献に対し支払われるものだ。したがって、生産効率が同じまま時間で短くなれば、受け取れる給与は減少することになる。マクロ的に言えば、GDPは縮小する。揶揄するための議論は卒業して、如何に生産性を上げるかといった前向きな議論が必要だ。

労働基準法の改正を機会に、改革に対する低レベルの批判を卒業したいものだ。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、個人的な見解に基づく情報であり、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com